

光、株式会社エンバイオ・エンジニアリングと業務提携を締結

最適な方法でスムーズに土壌汚染処理に対応できるよう
土壌汚染対策のプロ集団のエンバイオ・エンジニアリングと協力体制を構築。

解体工事業を中心に、施工管理サービスを提供する株式会社光（本社：愛知県名古屋市港区、代表：中村茂仁、以下、「光」）は、株式会社エンバイオ・エンジニアリング（本社：東京都千代田区、代表：西村 実、以下、「エンバイオ・エンジニアリング」）と2023年3月6日に業務提携を締結したことをお知らせいたします。



■業務提携の背景

土壌汚染とは、人工的なあるいは自然由来により発生した有害物質が土壌に浸透し蓄積されてしまうことで発生します。それが、環境問題のひとつとして取り上げられ、問題視されている理由には、環境や生態系へ悪影響を及ぼす可能性が高いこと、そして、広範囲にわたって悪影響を与える可能性があることからです。さらに、環境への影響だけでなく、人体へも悪影響を及ぼす可能性があり、私たちの健康に対しても被害を生じさせる恐れがあると言われていています。また、土壌汚染は目に見えにくく気づきにくいこともあり、長期間にわたって汚染された状態が続くことから、さらに問題が深刻化することも懸念されています。

なお、近年では、工場跡地などの再開発や土地の取引などに伴い、土壌汚染調査を実施することが義務付けられていること（2002年5月制定 土壌汚染対策法）から、多くの土壌汚染問題が顕在化しています。

そのような状況下で、土壌汚染問題を早期に発見し、適切な処置を講ずるためには、解体専門企業と土壌汚染対策専門企業とで協力体制を構築し、適切な調査、最適な方法で有害物質を除去することが必要になります。今回、そのような背景から解体工事業で50年以上培ってきた経験とあらゆる解体技術のノウハウを保有している光と、土壌汚染対策を中心に様々な事業を展開しているエンバイオ・エンジニアリングとが業務提携することとなりました。両社は、この業務提携を通じて、環境汚染や人々の生活環境・健康被害の問題を解決いたします。

■今後の展望

①一気通貫での対応が可能に（ワンストップサービスの提供）

工場跡地などの再開発や土地の取引に伴う解体工事の需要の高まりもある中で、解体工事と一括して土壌汚染調査から土壌汚染対策工事まで一貫して実施することで、スピーディーかつ柔軟な対応が可能となります。コストや工期の削減、及びお客様の事務的なご負担も軽減できます。

②プロ集団による協力体制によってスムーズかつ最適な方法のご提案が可能に

協力体制が確立できることに伴い、解体工事を検討されている方および土壌汚染工事を検討されている方など、様々なお客様に対して、両社からスムーズにかつ適切な提案をすることが可能になります。それにより、コストや工期の削減だけでなく、有効な土地活用も加速させることが可能になり、環境や近隣に配慮した対応を実現いたします。

■株式会社光について

会社名：株式会社光

代表取締役社長：中村 茂仁

所在地：愛知県名古屋市港区砂美町 165 番地

設立：1981 年 5 月

事業：一般解体、特殊解体、改修、土壌汚染処理、環境対策

HP：<https://www.kkhikari.com/>

■株式会社エンバイオ・エンジニアリングについて

会社名：株式会社エンバイオ・エンジニアリング

<株式会社エンバイオ・ホールディングスグループ（東証グロース：6092）>

代表取締役：西村 実

所在地：東京都千代田区鍛冶町二丁目 2 番 2 号 神田パークプラザ 8 階

設立：2003 年 1 月

事業：土壌汚染対策に関する調査、研究、開発、企画立案およびコンサルティング

土壌汚染対策工事の設計、施工および管理

環境調査用機器、浄化用資機材の販売および修理、保守点検サービス

店舗・事務所・倉庫等の建築工事

HP：<https://enbio-eng.com/>